

最高裁秘書第1867号

令和2年8月21日

林弘法律事務所

弁護士 山中 理 司 様

最高裁判所事務総長 中 村

慎



司法行政文書開示通知書

4月21日付け（同月23日受付，第020099号）で申出のありました司法行政文書の開示について，下記のとおり開示することとしましたので通知します。

記

1 開示する司法行政文書の名称等

- (1) 裁判官会議（第1回）議事録（片面で1枚）
- (2) 裁判官会議（第2回）議事録（片面で3枚）
- (3) 裁判官会議（第3回）議事録（片面で3枚）

2 開示しないこととした部分とその理由

1の各文書には，個人識別情報（署名及び印影）が記載されており，これらの情報は，行政機関情報公開法第5条第1号に定める不開示情報に相当することから，これらの情報が記載されている部分を開示しないこととした。

3 開示の実施方法

写しの送付

担当課 秘書課（文書室）電話03（3264）5652（直通）

裁判官会議（第1回）議事録

令和2年1月15日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 大谷長官、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林景一、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林道晴、岡村各裁判官

大谷長官議長席に着く。

議事

1 令和元年度裁判所所管補正予算（第1号）について

笠井経理局長から、資料第1に基づき、標記の補正予算について報告があった。

2 令和2年度裁判所所管予算について

笠井経理局長から、資料第2に基づき、標記の予算について報告があった。

午前10時35分終了

議 長

秘書課長

裁判官会議（第2回）議事録

令和2年1月22日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 大谷長官、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林景一、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林道晴、岡村各裁判官

大谷長官議長席に着く。

議事

1 令和2年度の裁判官研修について

永野司法研修所長から、資料第1に基づき、標記の研修について説明があった。

2 令和2年度における裁判所職員（裁判官以外）研修の実施に関する重要な事項について

古財裁判所職員総合研修所長から、資料第2に基づき、標記の重要な事項について説明があり、1の中央研修、2の高裁委嘱研修、3の自庁研修、4の委託研修、5の研究及び6のその他の研修については、いずれも原案どおり決定し、書記官任用試験（C.A）関係、書記官及び家裁調査官の養成については、いずれも報告がされた。

3 人事について

(1) 堀田人事局長から、資料第3に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の退官については、報告がされ、2の裁判官の検事転官等、3の裁判官の転補等及び4の司法研修所教官等の委嘱等については、いずれも原案どおり決定した。

(2) 堀田人事局長から、資料第4に基づき、徳島地方、家庭裁判所長の補職等について説明があり、次のとおり決定した。

大阪高等裁判所判事江口とし子の定年退官に伴い、徳島地方、家庭裁判所長石原稚也を大阪高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者を名古屋高等裁判所金沢支部判事齋藤正人とする。

午前11時02分終了

議長

秘書課長

裁判官会議付議人事関係事項(令和 2. 1. 22提出)

1 裁判官の退官について

定年退官 (令 2. 2. 8)

東京高判事・東京簡裁判事

小 林 元 二 (36)

定年退官 (令 2. 2. 8)

岐阜簡裁判事 (司掌者)

林 道 春

定年退官 (令 2. 2. 19)

平塚簡裁判事

安 原 義 人

定年退官 (令 2. 2. 22)

福岡簡裁判事

濱 本 洋 治

定年退官 (令 2. 2. 26)

東京簡裁判事

太 田 武 聖

定年退官 (令 2. 2. 27)

東京簡裁判事

秋 山 雅 美

2 裁判官の検事転官等について

依願免本官並びに兼官 (令 2. 2. 14)
(退官後在中華人民共和国日本国大
使館)

最高裁刑事局付 (東京地判事補・東
京簡裁判事)

伊 藤 圭 子 (66)

3 裁判官の転補等について

大阪地判事 (部総括)・大阪簡裁判
事

大阪地判事 (部総括)・大阪簡裁判
事 (司掌者)

北 川 清 (42)

大阪簡裁司掌者指名

大阪地判事・大阪簡裁判事

東京高判事・東京簡裁判事

最高裁家庭局第一課長・広報課付（
東京家判事・東京簡裁判事）

最高裁刑事局第二課長（東京地判事
・東京簡裁判事）

岐阜簡裁判事（司掌者）

名古屋簡裁判事（司掌者）

平塚簡裁判事

福岡簡裁判事

山鹿簡裁判事

大阪地判事（部総括）・大阪簡裁判事

内 藤 裕 之 (44)

大阪高判事・大阪簡裁判事

横 田 典 子 (49)

最高裁家庭局第一課長・広報課付（
東京家判事・東京簡裁判事）

澤 村 智 子 (51)

最高裁刑事局第二課長（東京地判事
・東京簡裁判事）

戸 荊 左 近 (52)

神戸地判事・神戸簡裁判事

市 原 志 都 (57)

名古屋簡裁判事（司掌者）

安 藤 學

豊橋簡裁判事

伊 藤 納

東京簡裁判事

林 一 宣

山鹿簡裁判事

出 口 曜 資

熊本簡裁判事

河 副 晋 一

4 司法研修所教官等の委嘱等について

「司法研修所教官等名簿」のとおり

裁判官会議（第3回）議事録

令和2年1月29日（水曜日）

裁判官会議室において、午前10時30分開議

出席者 大谷長官、池上、小池、木澤、菅野、山口、戸倉、林景一、宮崎、深山、三浦、草野、宇賀、林道晴、岡村各裁判官

大谷長官議長席に着く。

議事

- 1 最高裁判所裁判官国民審査法施行令の一部を改正する政令案について
大須賀広報課長から、資料第1に基づき、標記の政令案について報告があった。
- 2 人事について
 - (1) 堀田人事局長から、資料第2に基づき、人事関係事項について説明があり、1の裁判官の転補等及び2の裁判官の判事任命については、いずれも原案どおり決定し、3の裁判官の分限事件の申立てについては、報告がされた。
 - (2) 堀田人事局長から、資料第3に基づき、富山地方、家庭裁判所長の補職等について説明があり、次のとおり決定した。

東京高等裁判所判事都築政則の定年退官に伴い、富山地方、家庭裁判所長北澤純一を東京高等裁判所判事（部の事務総括者）とし、その後任者を名古屋家庭裁判所判事堀内照美とする。

午前10時41分終了

議長

秘書課長

裁判官会議付議人事関係事項(令和 2. 1. 29提出)

1 裁判官の転補等について

名古屋高金沢支判事(部総括)・金
沢簡裁判事

横浜地家小田原支判事(支部長)・
小田原簡裁判事(司掌者)

千葉地判事(部総括)・千葉簡裁判
事

最高裁総務局付(東京地判事補・東
京簡裁判事)

最高裁総務局付(東京地判事補・東
京簡裁判事)

最高裁総務局付(東京地判事補・東
京簡裁判事)

最高裁人事局付(東京地判事補・東
京簡裁判事)

最高裁民事局付(東京地判事補・東
京簡裁判事)

横浜地家小田原支判事(支部長)・
小田原簡裁判事(司掌者)

高山光明(39)

千葉地判事(部総括)・千葉簡裁判
事

松田俊哉(41)

東京地判事(部総括)・東京簡裁判
事

佐々木一夫(45)

岐阜家地判事補・岐阜簡裁判事

稲井雄介(65)

那覇家地沖縄支判事補・沖縄簡裁判
事

高木俊明(65)

前橋地家判事補・前橋簡裁判事

山本愉理子(67)

大阪地家判事補・大阪簡裁判事

久保晃司(65)

仙台地家判事補・仙台簡裁判事

平沢由里絵(67)

最高裁刑事局付（東京地判事補・東京簡裁判事）

札幌家地判事補・札幌簡裁判事

岡 田 毅 (65)

最高裁刑事局付（東京地判事補・東京簡裁判事）

さいたま家地判事補・さいたま簡裁判事

遊 間 洋 行 (67)

最高裁行政局付（東京地判事補・東京簡裁判事）

釧路地家帯広支判事補・帯広簡裁判事

古 賀 千 尋 (64)

最高裁行政局付（東京地判事補・東京簡裁判事）

盛岡地家判事補・盛岡簡裁判事

平 山 翔 悟 (65)

最高裁家庭局付（東京家判事・東京簡裁判事）

松山家地判事・松山簡裁判事

木 田 佳央人 (62)

最高裁家庭局付（東京家判事補・東京簡裁判事）

東京家判事補・東京簡裁判事

増 本 龍 憲 (67)

2 裁判官の判事任命について

那覇地家平良支判事・平良簡裁判事

平良簡裁判事・那覇地家平良支判事補

松 原 経 正 (60)

3 裁判官の分限事件の申立てについて（報告）

仙台高判事・仙台簡裁判事

岡 口 基 一 (46)